**埼玉県立大学保健医療福祉科学学会　　第13回学術集会**

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会

第13回学術集会長　田口孝行

**趣意書**

このたび、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会　第13回学術集会を令和4年11月26日（土）にオンラインにて開催する運びとなりました。

今回の学術集会テーマは「あらためて連携について考える」とさせていただきました。近年の新型コロナウイルス感染症拡大下において、それまでの多職種連携実践（IPW：Inter Professional Work）では対応できない場面が生じたり、各機関内および機関間でのIPWの不備等が露呈・明確化したりしている話しを聞きます。また、IPWに遠隔Web会議を導入するなど、IPWもICT（Information and Communication Technology）化が進んでおりますが、患者・利用者（特に高齢者）がICT操作に不慣れなことや、サービス提供スタッフであっても使用が難しいと実感しているのではないでしょうか。さらに、学校教育および実践者教育（職場内）における多職種連携教育（IPE：Inter Professional Education）の方法も変化してきております。

このような状況だからこそ、IPW/IPEの基盤および普遍性についてもう一度確認し、これまで構築してきた連携実践システム･連携教育プログラムについて、更なるサービスの質向上・汎用化に向けた再考、ICT活用を含めて、今後求められる“連携”について皆様と一緒に考えられればと思っております。

本学術集会では、メイン講演において、これまで学部および実践者のIPE/IPWに先駆的に取り組んでこられた長野県看護大学学長の大塚眞理子氏と埼玉県立大学高等教育開発センター長の朝日雅也氏の「今後、求められる連携」をテーマとした講演と鼎談を予定しております。また、連携には他職種の専門性を活用するマネジメントが必要とされることから、今回は教育講演として、高齢者の運動器障害（肩・腰・膝）への対処方法について理学療法の視点から講演していただきます。さらに、一般の方々にも公開する市民公開講座は、精神障害をもつ方の家族の方々のリカバリー体験講座、および認知症に関する科学的な予防・発見・改善策の最先端講座の2講座を企画しており、それぞれにおける専門職のみならず本人・家族も含めた連携支援について、講演者・参加者の皆様と一緒に考えられる場にできればと思っております。

新型コロナウイルス感染症がまだまだ変化する状況ではございますが、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会　第13回学術集会に数多くの皆さまにご参加いただき、これからの“連携”を考える機会にしていただけることを期待いたします。

ご参加される皆様にとって有意義な学術集会となること、さらに今回の開催によって、利用者様のより良い暮らしに向けてサービスの質を向上させることができるIPWの展開に少しでも貢献できることを願っております。

今後とも引き続き、ご指導、ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

**◆開催概要**

**【学会名称】**

**埼玉県立大学保健医療福祉科学学会　第13回学術集会**

**【テーマ】**

**「あらためて連携について考える」**

**【開催日時】**

2022年11月26日（土）　ライブ配信

**【開催会場】**

オンライン開催（ライブ配信）

**【代表者】**

**埼玉県立大学保健医療福祉科学学会　第13回学術集会**

　　　学術集会長　　田口孝行

（埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科・教授

　埼玉県立大学 地域産学連携センター・所長）

**【参加人数】**　　　300名（予定）



**【参 加 費】**無料

【参加登録期間】　2022年7月22日（金)～11月24日（木）正午　まで

※参加ご希望の方はここをクリック　（https://forms.gle/bsyrYf8NiEw3RfSJA）またはQRコードを読み込んでご登録のほどよろしくお願いいたします。

※参加登録をいただいた方には、前日までにオンライン参加方法の詳細についてご連絡いたします。

**【お問い合わせ先】**

実行委員会事務局

埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科

実行委員長：菊本東陽

〒343-8540　埼玉県越谷市三野宮820

TEL/FAX：048-973-4708

e-mail:kikumoto-touyou@spu.ac.jp

**埼玉県立大学保健医療福祉科学学会役員**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 理事長 | 星　文彦 | 埼玉県立大学　学長 |
| 副理事長 | 金村尚彦 | 埼玉県立大学大学院　研究科長　 |
| 理事 | 林　裕栄 | 埼玉県立大学　学生支援センター長 |
| 鈴木　玲子 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　看護学科 |
| 須永　康代 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　理学療法学科 |
| 小川　孔美 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　社会福祉子ども学科 |
| 高橋　宏至 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　健康開発学科 |
| 越智 幸一 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　社会福祉子ども学科 |
| 藤川　　剛 | 埼玉県小児医療センター（同窓会長） |
| 押野　修司 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　作業療法学科 |
| 高柳 雅朗 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　共通教育科 |
| 監事 | 濱口　豊太 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　作業療法学科 |
| 佐藤　安代 | 日本保健医療大学 |

**埼玉県立大学保健医療福祉科学学会　第13回学術集会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学術集会長 | 田口孝行 | 埼玉県立大学　地域産学連携センター　所長 |
| 副理事長 | 山崎弘嗣 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　理学療法学科　学科長 |
| 実行委員長 | 菊本東陽 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　理学療法学科 |
| 学術集会企画運営委員 | 高柳 雅朗 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　共通教育科 |
|  | 小川孔美 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　社会福祉子ども学科 |
|  | 須永康代 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　理学療法学科 |
|  | 千葉真希子 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　看護学科 |
|  | 井上和久 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　理学療法学科 |
|  | 中村高仁 | 埼玉県立大学　保健医療福祉学部　理学療法学科 |

**◆プログラム**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | **A会場** | **B会場** |
| 9:30～ | **受付開始** |  |
| 10:00～10:10 | **開会挨拶**学術集会長　田口孝行（埼玉県立大学地域産学連携センター所長・理学療法学科教授） |  |
| 10:10～11:40 | **【メイン講演･鼎談】**テーマ：「今後、求められるIPE/IPW」1）講演1講師：大塚眞理子氏（長野県看護大学・学長）2）講演2講師：朝日雅也氏（埼玉県立大学高等教育開発センター長・社会福祉子ども学科教授）3）鼎談：大塚眞理子氏・朝日雅也氏司会進行：國澤尚子氏（埼玉県立大学IPE科目担当者会長・看護学科教授） |  |
| 11:50～12:50 | **【****ランチタイム研究講座】**テーマ：「アンケート（質問紙）調査の実施方法と分析方法」講師：飯岡由紀子氏（埼玉県立大学大学院研究科教授） |  |
| 13:00～14:30 | **【教育講演】**テーマ：「多職種連携マネジメントに役立つ高齢者の運動器障害への対処方法」1）「肩関節障害（肩痛）への対処方法」講師：村田健児氏（埼玉県立大学理学療法学科助教）2）「腰部障害（腰痛）への対処方法」講師：隈元庸夫氏（北海道千歳リハビリテーション大学理学療法学専攻教授）3）「膝関節障害（膝痛）への対処方法」講師：小栢進也氏（埼玉県立大学理学療法学科准教授）司会進行：高﨑博司氏（埼玉県立大学理学療法学科准教授） | **【****市民公開講座1】****【埼玉県立大学オープンカレッジ】**テーマ：「精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク～私たちは何を体験したか～」講師：さいたま市精神障害者家族会（もくせい会）講師：摂食障害家族の会（ポコアポコ）講師：BPD（パーソナリティ）障害家族会司会進行：秋山美紀氏（埼玉県立大学看護学科精神看護学教授） |
| 14:30 | 次期学術集会長挨拶中村裕美（埼玉県立大学作業療法学科教授） |  |
| 14:45～16:15 | **【一般演題発表】** | **【市民公開講座2】**テーマ：「認知症はけっこう良くなる～科学的認知症予防・発見・改善策の最先端～」講師：鴫原良仁氏（熊谷総合病院脳磁図センター・医師）司会進行：進藤光啓氏（株式会社リコーメディカルイメージング事業センター） |
| 16:15～ | **閉会挨拶**学術集会副会長　山崎弘嗣（埼玉県立大学理学療法学科教授） |  |
| 16:30 | **閉会** |  |